
吸血鬼に憑依しちゃった！

フラン可愛いよフラン

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

吸血鬼に憑依しちゃった！

【Nコード】

N4255Z

【作者名】

フラン可愛いよフラン

【あらすじ】

ごく普通のモロドゴツ・・・高校生 村上狂はいつもどりの生活を送っていた。だが彼はその生活に飽き飽きしていた。

ある日、彼は勉強中に、謎の感情に飲み込まれかけてしまう。

なんとか、飲み込まれずにすむがその後、なぜか幼女に憑依している！？

この作品は作者の処女作です。

この作品は作者の自己満足90%と優しさ10%でできています。
駄文でもいい、見る、話はそれからだという人は見てください。

プロローグ(前書き)

始めての作文

プロローグ

俺の名前は村上狂 16歳

どこにでもいる普通の高校生だ

「あー、なんで勉強なんてしないといけないんだよ」

ある時、学生なら誰しもが思うであろうことを考えながら勉強をしていた。

「なにもかもがつまんねー、何か面白いことないかなー」

軽く現実逃避をしていると、ものすごい睡魔が襲い掛かってきた。

(もう今日は寝ようかな・・・)
とウトウトしているとき

「ガッ?」

突如得体のしれない感情が湧き出てき、苦悶の表情を浮かべた。

「うつうつうつ・・・(な、なんだよこれ!感情が抑えきれない?)」

この時、狂は「狂気」が湧き出ていた。目の前のものを全て壊したいという感情が。

「うつうつうつ・・・(ヤツチャイナヨ・・・)やめる・・・(ガマンシナクテイインダヨ?)やめる・・・(スベテコワシチャイナヨ)やめるー!!!」

謎の聲に惑わされ、狂気に身を委ねかけたその時、ある友人の聲が聞こえてきた。

(お前このままモブキャラみたいに吞まれていいの?)
「モブキャラ言うなー?(エ?)」

実は、彼は友人から「お前このモブキャラに似てね?ww」と言われ、すこしモブキャラと言われることがトラウマであった。

「ぶるウああああああ(ウワッ!)」

若 ボイスを出しながら狂気を押していく。外から見たら、机に向かって叫んでいる変質者には見えない。

「これで終わりじゃあああ!(キヤアアア!)」

とどめとして窓ガラスに頭を叩きつけた。

「(アアアアああ・・・)ハア・・・ハア・・・モブキャラなめんなよ・・・

すこしドヤ顔をしながら机に向かって言う。頭から血がでていて情けない。

「なんだったんだよ・・・まあいいや、もう寝よう」

?視点 郷

(ふふ、少しの希望をもって表の世界で私自身を預けられる人をさがしていたけど、まさか私の狂気を壊せる人がいるなんて・・・この人なら自分の体、そして能力を預けても大丈夫そう)

何者かがなにかを決意し魔方陣を書きはじめた。

「(これであってるよね・・・よし)

禁術【魂の抽出】対象者、村上狂

禁術【魂の収容】受体者、

禁術【魂の消滅】対象者、

そう言うと、その者はゆっくりと倒れた。

(さようなら、お姉様・・・)

プロローグ（後書き）

正直に言う

このプロローグは妹様に憑依させるために適当に作ったんだ

ちなみにこの作品での妹様は頭がいいです。

だいいちわ？（前書き）

調子に乗って連投

衝動書きしたからいつ止まるかが怖い

おもわず出した声に狂は疑問を浮かべた。

(俺の声じゃない??)

そう、彼の声は本当なら低くて太いものだったが、実際に出た声は、高く小さい子供がだすような声だった。しかも女の子のほう。

あせって体を見してみる

透き通った白い肌

か細い手足

なぜか背中に生えている、色とりどりの宝石がついた綺麗な羽
そして前までついていた男の勲章がなかった。

オマケに身長も小学校低学年ぐらい

ここまででわかることは

「なんで幼女になってんのおおお!?!」

村上狂 16歳

いままでの人生でもっとも大きい絶叫をあげた。

だいいちわ？（後書き）

なんだこの駄文は、だが後悔も反省もしない。

いちわとにわをまちがえるといつ暴挙

だいにわ(前書き)

頑張つて連投

だいにわ

「と、とにかく落ち着こう・・・まずしよれからだ・・・」

全く落ち着けていない。

「まず俺はだれに乗り移っているかを知らないと」

そう考えた狂はドアに向かってあるいていき、開けようとする。

「えー？なにこれ」

ビクともしなかった。驚きのあまり某王様の相棒が乗り移ってしまった。

「でもこれじゃあ誰かが来るのを待たないと行けないのか・・・」

少し落ち込んで気長に待っていると、

（なんだこれ？・・・えーとなになに？ありと・・・あらゆる・・・物を・・・破壊する程度の能力・・・）「ありとあらゆる物を破壊する程度

- 1時間後 -

「よ、よし、とにかく触ってみよう」

ようやく自分に害が無いと判断できたのか、触ろうとする狂。

だが少し力が強かったせいか、その玉を握り潰してしまった。
すると……

パーン？

コップは、粉微塵に吹き飛んだ。

「はっ？」

だいにわ(後書き)

次回 キャラ設定

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4255z/>

吸血鬼に憑依しちゃった！

2011年12月14日20時48分発行